

マスク着用困難者への支援について

大野みどり 議員

議員 障がいや病気によ
り、マスク着用できない
方への理解を深め、周知
する取組について、マ
スク着用できないことを
周囲に知らせる、意思表
示カードとバッジの配布
について、当市の見解を
伺います。

福祉部長 他自治体の取
組を調査し、市公式ホー
ムページ等を通じた周知
啓発に早期に取り組む考
えです。

議員 更に検討してい
ただき、意思表示カードや
バッジの作成、配布を要
望いたします。

コロナ禍での運動会について

議員 子どもの成長を見
ることが出来る大切な運
動会。

来年度以降の保護者の
参観を含めた運動会につ
いて、伺います。

教育部長 国や県の方
針、感染状況や保護者の
要望を踏まえ、検討して
まいります。



▲来年度以降、保護者の参観を含めた運動会の検討を

掲載以外の質問項目
◆新型コロナウィルス感
染者世帯への支援につ
いて

「官製談合事件」で市長の認識を問う

金剛寺 博 議員

議員 元社会福祉協議会
理事の裁判で認定した、市
職員人事への介入の事実、
重要案件を相談していた
とされたことについて市
長の認識は。

市長 職員などに人事介
入と受け取られかねない
事例はあったことは認め
るが、人事について指示
を受けることはなかった。
政策について話をすること
とはあったが、市民の皆さ
んとの話と相違ない。

国民健康保険税の引き下げを求める

議員 国民健康保険税は
14年ぶりに改訂する予定
ですが、その内容について
伺います。

健康づくり推進部長 賦
課方式を所得割・資産割・
均等割・平等割の4方式か
ら、所得割・均等割の2方
式に移行の予定。国は未
減する制度を導入するが、

健康づくり推進部長 県
納付金の算定結果を踏ま
え、被保険者の負担増を出
来るだけ抑制できるように
な税率を模索します。

「官製談合事件」の市長の反省と 再発防止対策を求める

伊藤悦子 議員

議員 元社会福祉協議会
理事の判決には、長年、市
役所人事に大きな影響を
有し、入札関連の便宜を図
らせたとあります。市長の
責任は重大で、改めて事件
への反省を求めます。

市長 重大な不祥事と強
く認識し、自身の責任を痛
感しております。
議員 責任を痛感するな
ら辞職すべきです。コン
プライアンス条例の制定
やかに検討したい。

新型コロナ感染防止対策について

議員 3回目のワクチン
接種の取組は。

健康づくり推進部長 現
時点では、2回目接種終
了者のうち原則8か月以
上経過した方に集団接種
と医療機関接種で検討し
ています。3回目接種は、
府は、感染拡大時に県の
判断で無症状者に無料で
PCR検査等の支援を打
ち出しており、市は補助
制度を継続します。

健康づくり推進部長 政
府は、感染拡大時に県の
判断で無症状者に無料で
PCR検査等の支援を打
ち出しており、市は補助
制度を継続します。

札野章俊議員

つぼみ園の運営について

議員 障がい児通所施設つぼみ園が新規に建築されているが定員やカリキュラムにも変更があるのか。

福祉部長 未就学児の定員を5名増やして、上限を25名に増員する予定です。また、療育室の拡充に伴い、個別療育の枠数を増やす方向です。そのほか保健センターが実施している1歳6か月健診への専門指導員の派遣や、保育園・幼稚園等で障がい児支援に携わっている関係者に対する実践指導を行うことなどを考えています。

つぼみ園は将来的な児童発達支援センター化を見据え、地域の中心的な療育機関としての役割を果たせるよう充実を図ってまいります。

議員 ペアレントメンターの認識と、その採用について伺います。

山宮留美子議員

今後の成人式について

議員 令和2年度（令和3年1月）の成人式は、コロナ禍によりギリギリまで開催の判断が出来ず、最終的に式典は開催されませんでした。成人式を迎えた皆さんは大変残念がっていました。

そこで、令和3年度（令和4年1月）の成人式開催についての取組についてはどのように考えていますか。

教育部長 令和3年度の成人式については、新型コロナウイルス感染症の終息には至っていませんが、感染防止対策が確立されつつあることから、現在では実施していく方向で準備を進めています。

議員 令和4年の4月に城南中学校と愛宕中学校が統合されます。その後の成人式については、どのような開催方法になりますか。

久米原孝子議員

移動手段の充実について

議員 乗合タクシーの行き先拡充の考えについてお聞きをいたします。

コミュニティバスや乗合タクシーの利用者の多くが高齢者になると思いますが、今後も高齢化の進行が見込まれる中、通院や買物といった日常生活の支援の確保が必要となつてまいります。

乗合タクシーの行き先をドア・ツー・ドアにし、どこにでも行けるように、移動手段の充実を図るべきと思いますが、当市の考えをお聞かせください。

都市整備部長 年々、利用者が増加傾向にある中、目的地の拡充は利用者からも要望として出されていますが、コミュニティバスや乗合タクシー等のそれぞれの目的や役割など十分に考慮した上で、慎重に検討してまいります。

議員 期日前投票所への移動支援についてです。期日前投票所まで移動が困難な方に移動支援をしてはいかがでしょうか。乗合タクシーの行き先には市役所とサブプラが含まれていますので、上手に活用できれば移動支援もスムーズにできるのではないかと思います。考えをお聞かせください。

久米原孝子議員

移動手段の充実について

議員 期日前投票所への移動支援についてです。期日前投票所まで移動が困難な方に移動支援をしてはいかがでしょうか。乗合タクシーの行き先には市役所とサブプラが含まれていますので、上手に活用できれば移動支援もスムーズにできるのではないかと思います。考えをお聞かせください。

総務部長 関東運輸局の許可の手続が選挙ごとに必要であり、課題・問題点が多く、引き続き研究課題とさせていただきます。

議員 期日前投票所への移動支援についてです。期日前投票所まで移動が困難な方に移動支援をしてはいかがでしょうか。乗合タクシーの行き先には市役所とサブプラが含まれていますので、上手に活用できれば移動支援もスムーズにできるのではないかと思います。考えをお聞かせください。



▲乗合タクシーの行き先を拡充し移動手段の充実を

掲載以外の質問項目
◆ウィズコロナでの式典イベント運営について

**流通経済大学にラブボールを！
龍・流連携事業の進化にチャレンジ**

石引礼穂 議員

議員 流通経済大学との連携事業（龍・流連携事業）の取組をはじめてから17年経過していますが、まちづくり市民アンケートによると認知度が非常に低い状況です。

市内に大学があるというのは、市にとって財産です。今までと同じ体制ではなく、流通経済大学の教授・学生・地元事業者と一緒に定期的に協議をする場をつくっていただく必要があると思います。

市長公室長 龍・流連携事業推進上の課題の解決及び龍・流連携事業の進化にチャレンジしていきます。そのため、これまで以上に大学側との連携・協力を図るべく、お互いに意見を出し合い、協議を重ねていくことが重要であります。市民や学生からの意見を伺う機会の充実も重要でありますので、

ご提案の新しい形での意見交換の場の設置についても、大学側と協議してまいります。

議員 産官学連携で、スポーツによる地域活性化・まちづくりは、経済的効果・教育的効果・心理的効果・健康増進効果があり、コミュニティ、アイデンティティの醸成につながるものだと思います。最終的には、産官学、地元の事業者やトップのスポーツ選手やチーム、そして流通経済大学と行政の三者が情報共有できる場をつくり連携することで、活性化し、好循環が期待できます。その結果、特色のあるまちづくりにつながっていくのだと思います。

どんどん行政側からラブボールをすべきだと思いますので、よろしくお願いたします。

カーボンニュートラル実現に向けて

大竹 昇 議員

議員 バイオマスの定義や種類は如何に。

産業経済部長 バイオマスとは、生物資源であるバイオの量を示す概念で、有機性資源です。廃棄物系、未利用バイオマス、資源作物に分類されます。

議員 COP26の2年連続不名誉な「化石賞」を打破し、安心・安全な生活を維持すべく、バイオマス活用推進基本法の目的及び基本理念は如何に。

産業経済部長 バイオマスの活用により、持続可能な経済社会への実現を掲げており、基本理念として、①バイオマスの活用②地球温暖化の防止③循環型社会の形成④産業の発展⑤農漁村の活性化⑥バイオマス種類の特性に応じた利用⑦エネルギーの供給源の多様化⑧地域の主体的な取組⑨社会的気運の醸成⑩食料の安定供給の確保⑪環境の保全へ

の配慮等が規定され、政府では、市町村にバイオマス活用推進計画の策定に務めるよう規定しています。

議員 産業経済部長としてカーボンニュートラルの見解をお示しください。

産業経済部長 日本では、2050年までのカーボンニュートラル実現に向け、地域脱炭素ロードマップにより2030年までに全国100か所以上の脱炭素先行地域づくりを掲げています。

議員 市民の皆様にごみ分別のお力添えを得てバイオマス発電に取り組み、①一般廃棄物の焼却量削減②生ごみ減量による炉の延命化③焼却灰の削減で最終処分場の延命化④堆肥化などによる代替エネルギーの活用⑤家畜ふんの悪臭など生活環境の改善⑥地球の温室効果ガス排出抑制に貢献できるので取組を要望します。

当市の立地適正化計画の欠陥

岡部賢士 議員

議員 コンバクトシティ形成のために、都市機能や居住地を誘導しているという立地適正化計画の運用が開始されている。居住を誘導する施策は居住を誘導するために、具体的にとどのような施策が実施されているのか。

都市整備部長 若者・子育て世代住宅取得補助制度の中で、居住誘導区域加算を設けている。

議員 既に市街地であるのに、居住誘導区域から外されてしまった地区もあ

市営住宅

議員 入居者の世帯や年代の傾向、空き状況について質問。

都市整備部長 高齢者世帯と一人世帯の比率が高くなってきている。空き戸数が増えてきて、現在46戸空いている。

議員 高齢化による状況変化に伴う相談等に対し、**掲載以外の質問項目**
◆コメ農家の危機打開

後藤 光秀 議員

奪われた行事、その代替について

議員 感染症拡大の影響で、行事やイベントが中止もしくは規模の縮小となったものが多くある中でも運動会や修学旅行、そして成人式について最も多く市民からご意見があった。特にこれらの行事は開催することに意味があるが代替案はあるのか。
教育部長 新しい生活様式と子どもたちの意見をしていきます。

龍ヶ崎大型花火大会について

議員 10月31日の夜、市役所から見て西の空に大型花火が打ち上げられた。子ども達への思い出づくりとして八原地区子ども会育成会が主催し、多くの方から協力を得て今年も大成功となった。この主催者と他自治体花火大会の実行委員の方をお連れし、龍ヶ崎大型花火大会に向けた要望書を提出しましたが、検討状

◆市長選挙について

石嶋 照幸 議員

東口ロータリーについて 〜低コストで快適なロータリーへ〜

議員 現在は先送りと状況を考えて、計画を再考するべきです。
都市整備部長 龍ヶ崎市東口駅前広場の改修は、公共交通と一般車の動線を二分して二つのロータリーを配置する計画となっております。

交差点も十字路形状に改修し、歩車分離式の信号の導入を予定しています。現状としては、令和元年度に実施設計を終え、本年度の工事着手に向け準備していましたが、コロナウイルス感染症の影響を受け、歳入の減少が見込まれた為、先送りを判断しました。今後の見通しは、駅利用者及びロータリー内の交通量の動向、今後の社会情勢などを見据えながら、事業の実施時期を判断しつつ環境整備を進めます。

◆今後の市政について



▲お金をかけずにロータリーの整備を

官製談合事件について

議員 閲覧した裁判記録に間違いがなければ中山市長初当選後、当時課長だった元副市長に対し、元理事が行った「昇進の段取り」、「副市長にすることへの市長からの了承取付」と副市長になることへの本人意思確認」など元理事による人事介入がこの時点からあったと理解します。また、記録の中で元理事が話した内容では「副市長の考えた次年度人事構想案に職員名を手書きで書き入れていた」とあり、また元副市長初公判の検察側、弁護側の経緯説明では「市長、元理事の間で職員人事に関して相談しているようである」とありましたがこれについて見解を。
市長 私の認識と食い違っているところがあります。今後の元副市長公判を見定めていきたいと考えています。

副市長の一存で決められる。副市長を利用し、特定の職員を昇進させた。この供述がありますがその見解を。
市長 元副市長の公判で示されるものを見極めていきたいと考えます。
議員 市長就任時期から人事介入が始まり、それが見過ごされ今回事件に至ったと思われませんが見解を。
市長 認識とかなり食い違いがあります。市政安定のため、元理事を含め多くの方が汗をかいたと記憶しています。人事案件は責任を持って最後に判を押していました。
議員 説明責任を今後しっかりと果たしていただきたいと思えます。

◆下水道料金の減免について

山村 尚 議員

掲載以外の質問項目

◆新型コロナウイルス第6波に向けての対策

残された家族への対応について

加藤 勉 議員

議員 今年4月に3名の職員が亡くなっています。私は、残されたご家族への配慮のため、この問題には触れない方が良いでしょうと思っております。そこで提案なのですが、専任の相談体制を構築し、ご家族へ対応していただけないでしょうか。

市長 これまでの市の対応を振り返りつつ、ご遺族の声に耳を傾けて、その思いに寄り添うことで、小さなことでも相談頂けるような関係を築いていきたい。

議員 そういった漫然とした対応ではなく、専任の相談体制のチームを組織し、誠意を持って丁寧で温かみのあるサポートを望みますが、市がどのような対応をするのかを多くの職員も注目していると思います。

議員 自分の家族に同じようなことが起きたことを自分の身に置き換えて考えてほしいと思います

◆中山市長と市職員とのミーティングについて

官製談合事件、市長の関与は？

後藤 敦志 議員

議員 刑事確定訴訟記録法に基づき、社協元理事の裁判記録を閲覧してきました。その中で、元理事は、令和元年度中に中山市長や前副市長らと勉強会と称した飲み会で、給食センター整備事業についてはA社だけが代表になれる形で実施することについて説明し、中山市長から賛同を得たとの供述がありました。この出来事について、実際にあったのか無かったのか、市長の認識を答弁ください。

市長 記憶に起こすことができない内容ですので、答弁は避けさせていただきます。

議員 勉強会と称する飲み会があったのか無かったか。飲み会はあったが、そんな話をした記憶がないのか。そのメンバーで飲み会をした記憶はないのか。記憶に起こすことができないのは、どの部分なのか。

市長 メンバーをはつきりと思いつくことはできませんが、勉強会という名前だけでやった記憶はありませんが、飲み会などはありません。

議員 記憶を呼び起こせるか供述調書を引用しますが、給食センターの入札案件に関して元理事は「JVで施工し、またJVはA社とB社で組むことが望ましく、さらにA社がJVの代表になることがベストである」と私の考えを伝えたところ、中山市長、前副市長らも全員賛同してくれました」との供述をしています。

市長 この供述について、中山市長の認識をご答弁ください。

市長 正面から受け止められない内容があります。なぜこのような証言がされたかは、ちょっと理解ができないです。

起こるべくして起きた官製談合事件

大野 誠一郎 議員

議員 市長は就任当時、市の閉塞的な状況を打破するためには、市長が自ら、政治主導しなければならぬと言っています。12年間を振り返り、今現在、どう思っているかお伺いしたい。

市長 市民が主導的な立場になって市政運営の方向性をしっかりと示していけるような、そのような市政が、やはり理想であるという考えは変わっていません。

議員 今回、発生した官製談合事件については、市長の理想とは裏腹に、市政が閉塞的な状況であると、そのように思いますが、市長の認識は？

市長 理想の市政を目指し、閉塞感も打ち破るものは打ち破りながら、ここまで来て、返す返すもこの事件は残念でなりません。この事件を防げなかった管理監督者としての責任は、大変重く深く反省をしている。

議員 市長、私に、起こるべくして起きた官製談合事件であると考えている。社協元副会長の被告人質問の中では、社協元副会長は過去10年間にわたり、年10件の官製談合事件をしていたと答えました。年10件の事件というのは約五、六十の工事、事業数です。6月議会の質問の中で、この件について事実を確認したいと答弁しましたが、事実の確認は進んでいますか？

市長 公判の記録などを詳細に調査する必要がありますかと思いますが、まだ事実の確認等は出来ていないところです。

議員 事実の確認はしていかないとの答弁です。真相を明らかにすべきです。公判の影響という事で逃げている、避けていると思わざるを得ません。